

事務局ニュース 04-NO.7 2005.2.18 埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

ご 報 告

1. 「県次世代行動計画」が発表されました

11月に提示された県の次世代育成支援対策行動計画「中間取りまとめ案」に対して、12月13日の公聴会で学童保育から9人の保護者と指導員から意見表明をしました。また、1月16日まで行われた意見募集に対して県連協、地域連協、学童保育、個人など関係者から10通ほどの意見が届けられたようです。ご協力ありがとうございました。

2月4日、第5回県策定協議会（最終回）が開催され、「行動計画（案）」が承認され、知事決済を経て14日に記者発表されました（別添 B4版 ビック 1クラブ1部）。学童保育に関する部分は以下の通りでした。「市町村等と連携しながら」と追記されました。

4日の協議会では、当日、提案された『行動計画（案）』に対して県連協選出の森川委員から、「この間、団体としても要望し、公聴会でも多数の意見・要望が出された。しかし、お金が伴う問題については文章化されない。目標値についても地域で改正を申し入れたが、ネックは財政問題。5年間の計画期間内で財政の確保に努力することを明記して欲しい」と発言。その結果、「推進体制」の「次世代育成支援対策行動計画推進協議会の設置・運営」の部分に「次世代育成支援のための新たな財源の確保や施策の提案についても議論していきます」と追記されました。

県連協としては、この計画づくりに地域からの支援もお願いしながら力を入れてきました。策定協議会も部会も含めて精力的に会合を持ち、活発な審議を行ってきました。事務局である子ども家庭課も、独自のHPの作成と細かな情報提供、公聴会開催、意見公募、公募意見への対応などでいねいな対応をされてきました。しかし、特に財政が伴うような記載には県庁内で合意を取り付けることが困難であったようで、地域連協や学童保育の方々が本当に望む形での計画とすることはできませんでした。これが現時点での県政の到達点のようです。このとりくみを大事な教訓にして、県に対して引き続き施策改善をはたらきかけていきたいと思えます。

重点的に取り組む施策

(23頁) 放課後児童クラブの充実

放課後児童クラブについて、原則として小学校区ごとに、入所を希望するすべての児童を受け入れる体制を整備します。また、放課後児童クラブ運営基準に基づき、施設、設備、運営状況を確認し、その結果に基づき、市町村等と連携しながら保育の質の向上を図ります。

・放課後児童クラブの設置 760カ所 841カ所

具体的施策

(39頁)(3) 放課後児童クラブの充実

放課後児童クラブの設置促進

・放課後児童クラブについて、原則として小学校区ごとに、入所を希望するすべての児童を受け入れる体制を整備するとともに、保育の質の向上を図ります。【子ども家庭課】

・小学校の余裕教室など既存の公共施設の活用も図りながら、放課後児童クラブの設置を促進します。【子ども家庭課】

・放課後児童クラブの設置 760カ所 841カ所

放課後児童クラブ運営基準の活用促進

・放課後児童クラブ運営基準を周知し、市町村等と連携しながら活用を促進します。【子ども家庭課】

・放課後児童クラブの運営状況を定期的に調査し、公表します。【子ども家庭課】

放課後児童クラブ運営基準に基づく保育の質の向上

・放課後児童クラブ運営基準に基づき、施設、設備、運営状況を確認し、その結果に基づき、保育の質の向上を図ります。【子ども家庭課】

指導員研修カリキュラムや指導員の認証制度の検討

・指導員の資質の向上を図るため、行政、関係団体、大学等の関係機関の連携により、指導員の研修カリキュラムを作成します。【子ども家庭課】

・指導員研修の受講終了について、県独自に認証する仕組みについて検討します【子ども家庭課】

障害児の受け入れの促進

・放課後児童クラブへの入所を希望する障害児の受け入れを促進します。【子ども家庭課】

養護学校放課後児童クラブの設置の促進

・養護学校児童の健全育成を図るため、養護学校放課後児童クラブへの入所を希望するすべての児童を受け入れる体制を整備するとともに、保育の質の向上を図ります。【子ども家庭課】

2. 県連協主催の行事・とりくみ

(1) 第4回集中講座「障害児の生活づくり」

12月19日(日) 於埼玉労働会館 2月20日(日) 於埼玉教育会館

*19日は141人の参加がありました。県連協障害児専門委員会でまとめを行います。

(2) 平成16年度放課後児童指導員研修会(第32回学童保育指導員学校)

1月23日(日) 於埼玉県立大学

*約780人の参加がありました。県連協学習・研究委員会でまとめを行います。

(3) 第16回指導員の労働条件改善のための一日学習会

1月30日(日) 於埼玉教育会館

*約100人の参加がありました。県連協労働条件改善委員会でまとめを行います。

「指定管理者制度」の分科会については、県連協公立公営委員会でまとめを行います。

お知らせ・お願い

1, 第4回県連協代表委員会のご案内

- 日時 3月12日(土) 18:00開場18:15開会
場所 シーノ大宮・桜木公民館(地図参照)
議題 (1) 県連協の組織検討 専従体制複数化
NPO法人格取得 会費見直し等財政確保
(2) 『日本の学童ほいく』誌の定着・普及のとりくみ
(3) 交流 地域「次世代育成行動計画」ととりくみ
お願い 地域で策定された「次世代育成行動計画」
ないし素案があれば、3月8日までに1部お送り下さい。

2, 「運営基準」活用の手引きをご活用下さい

このほど、『地域の学童保育改善運動をスタートさせよう! ~「埼玉県放課後児童クラブ運営基準」活用の手引き』を作成しました。「運営基準」を“絵に描いた”餅”に終わらせず、地域で施策改善の道具として活用する方法を提示し、市町村にどのようにはたらきかけるかを紹介したものです。3月の代表委員会や5月の研究集会等で改めて説明を行います。目を通していただき、「運営基準」の活用を進めて下さい。(別添 B4版 ミト色 1クラブ5部)

3, 『学童ほいく』誌の定着・普及に向けて

- (1) 地域連協・学童保育で4月号拡大の方針を立てましょう
『日本の学童ほいく』誌は全国学童保育連絡協議会が発行する学童保育に関する唯一の雑誌です。共働きをしながら子育てをしている私たちにとって共感したり考えさせられたりする内容がいっぱいです。指導員が保育実践に役立てることのできる記事や国や自治体の情報など参考になる記事もあります。また、地域と県連協の財政の役にも立っています。20部以上まとまれば(4部以上で郵送費無料)還元金=地域へ30円が降ります。県連協を支える財源ともなっています。
そこで、新学期を前に是非、父母会、指導員会、地域連協などで『学童ほいく』誌の位置づけを改めて話し合い、すべての父母と指導員が購読される方針を立てていただきたいと思います。普及のために4月号を見本誌として無料で送り致します。見本誌の必要枚数をFAX等でお知らせいただければ幸いです。(右下参照) 3月12日の代表委員会でも討議します。

- (2) アンケートへのご協力を
「『学童ほいく』誌の配布・集金等の実務についての調査」(別添 B4版 パ-プル 1枚
地域で1枚ご回答下さい)
「『学童ほいく』誌の内容についての感想・意見 アンケート」(別添 B4版 クリム 各クラブ
3枚 保護者2枚、指導員1枚をご回答下さい)

- (3) 全国連協からモニター登録のお願い(別添 B4版ライヒ°ソク 各クラブ1枚 お配り下さい)
『学童ほいく』誌の内容をよりよいものにするために定期的に感想・意見を届けていただくモニターを募集しています。『学童ほいく』誌を読んでいる方であれば誰でも何人でもけっこうです。すべての地域・学童保育からご選出下さい。3月6日までにFAXにてお送り下さい。

- (4) 『学童ほいく』誌見本誌・チラシ希望枚数を教えてください(右下)

3, 県連協・全国連協・県 当面の予定

- (1) 第26回県学童保育実践交流会
3月6日(日) 於嵐山・国立女性会館
* 2月末には『レポート集』が届きますので、目を通した上でご参加下さい。
(2) 全国連協主催 子育てシンポジウム (別紙 A4版ソク 1クラブ1枚 お配り下さい)
テーマ「子どもたちに安全・安心な地域の居場所を」
3月6日(日) 於東京・全水道会館
* 実践交流会当日ですが、それ以外の保護者等に参加を呼びかけて下さい
(3) 子ども・夢・未来フェスティバル 2005 (別紙 A4版 カ- 1クラブ1枚 お配り下さい)
3月13日(日) 於伊奈町・埼玉県民活動総合センター
* 県連協も実行委員会に参加。障害児学童保育ブロックでは展示と模擬店で参加します。
(4) 第5回新人指導員研修会 (別添 A版ソク 1クラブ1枚 お配り下さい)
3月20日(日) 於埼玉教育会館
(5) 第33回県学童保育連絡協議会総会
5月28日(土) 於埼玉教育会館
* 4月予定の第5回代表委員会で方針を討議します。地域連協は県連協運営委員の選出を。
(6) 第33回県学童保育研究集会
5月29日(日) 於埼玉県立大学(予定)
(7) 全国指導員学校・北関東会場
6月26日(日) 於足利市民会館

『学童ほいく』誌見本誌・チラシ希望枚数

毎年、4月号を活用して新入学児童の家庭を中心に『日本の学童ほいく』誌を普及したいと考えています。そのための普及に必要な部数(現在と同部数はお渡しできます。それ以上必要であればご相談下さい)をお知らせ下さい。チラシは何枚でもOK。普及・活用計画の箇所もお書き下さい。✂切=2月末日 FAX 048-644-1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

連絡協議会ないし学童保育名 _____ 記載者名 _____
連絡先 _____ FAX _____ E-MAIL _____

送り先	見本誌部数	チラシ枚数	普及・活用の計画をお書き下さい